超低汚染形ターペン可溶2液形アクリルシリコン樹脂クリヤー

ファイン プーレシステム

ニッペ ファインシリコンフレッシュクリヤー
ニッペ ファインプーレコート
ニッペ ファインプーレガード

JIS A 6909 耐候形1種相当品

放散等級 区分表示	F☆☆☆☆

居室内外での使用面積制限はありません

ハイブリッド架橋による コンクリート生地肌仕上げ

FINE SILICONE FRESH CLEAR
FINE PUHRE COAT
FINE PUHRE GUARD

ぬれ肌防止

超低汚染

高耐候

FINE PUHRE SYSTEM

NIPPON PAINT CO.,LTD.

ニッペ

ファイン プーレシステム

超低汚染形ターペン可溶2液形アクリルシリコン樹脂クリヤー

ニッペ ファインシリコンフレッシュクリヤー
ニッペ ファインプーレコート
ニッペ ファインプーレガード

特 長

1 コンクリートの素材感を生かした仕上げが可能

素材のぬれ肌が防止でき、コンクリートの仕上がり外観そのままの仕上げになります。生地の素材感を長期に維持し美しい仕上げが得られます。

2 中性化防止、エフロレッセンス・塩害防止

防水性が高く、コンクリートの中性化を抑制します。
また、エフロレッセンスの発生を抑制し、塩害からコンクリートを保護します。

3 高耐候性・超低汚染性

強固なシロキサン結合によって架橋するため、光沢低下や変色が極めて少なく高耐候性を発揮します。また、特殊セラミック成分による親水化技術がすぐれた低汚染性を実現します。

4 オール弱溶剤形システムで環境に優しい

弱溶剤系であるため臭気がマイルドです。
鉛などの重金属、ホルムアルデヒド、クロルピリホスを配合していません。

5 防藻・防かび性、透湿性

最先端のバイオ技術で、藻・かびの発生を抑制します。
透湿性が高く、結露から建物をまもります。

FINE SILICONE FRESH CLEAR
FINE PUHRE COAT
FINE PUHRE GUARD

FINE PUHRE SYSTEM

ファインプーレシステムのメカニズム

ファインプーレシステム標準塗装仕様（生地仕上げ）

■新設コンクリート面　生地仕上げ

工　程	塗　料　名	塗り回数	使用量 kg/m²/回	塗り重ね 乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
素地調整	よごれ、ほこりなど付着物を除去し、乾燥した清浄な面とする。（一般の下地調整材による補修やサンダーがけは原則としてできません。）						
はっ水処理	ニッペファインプーレガード（ターペン可溶特殊シラン系はっ水剤）	1	0.16～0.20	16時間以上	無希釈	−	ウールローラー エアレススプレー
下　塗　り	ニッペファインプーレコート（ターペン可溶シリコン樹脂クリヤー塗料）	1	0.12～0.15	4時間以上	塗料用シンナーA	30～40	エアスプレー
上　塗　り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー（つや有り～つや消し・カラークリヤー）	1	0.12～0.14	−	塗料用シンナーA	20～40	エアスプレー※

注）上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）
●ニッペファインプーレコートやニッペファインシリコンフレッシュクリヤーをローラーにて塗装する場合、つやむら、つやの上昇が発生する場合があります。
　あらかじめ試験塗装を実施し、仕上がりをご確認ください。さらに、ローラーは短毛ローラーにて塗装し、塗装時の希釈率は「0～10%」で塗装してください。（基本的にスプレーでの塗装をおすすめします）

■経年コンクリート面（旧塗膜あり）生地仕上げ

工　程	塗　料　名	塗り回数	使用量 kg/m²/回	塗り重ね 乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
水　洗　い	高圧洗浄し、浮き塗膜などは除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中　塗　り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー（つや有り）	1	0.12～0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20～40	エアスプレー
上　塗　り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー（つや有り～つや消し・カラークリヤー）	1	0.12～0.14	−	塗料用シンナーA	20～40	エアスプレー※

注）上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）
●ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーをローラーにて塗装する場合、つやむら、つやの上昇が発生する場合があります。
　あらかじめ試験塗装を実施し、仕上がりをご確認ください。さらに、ローラーは短毛ローラーにて塗装し、塗装時の希釈率は「0～10%」で塗装してください。（基本的にスプレーでの塗装をおすすめします）
●旧塗膜がはく離している場合、はっ水処理と下塗り処理を行ってください。
●旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。

■経年コンクリート面（旧塗膜なし）生地仕上げ

工　程	塗　料　名	塗り回数	使用量 kg/m²/回	塗り重ね 乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
水　洗　い	高圧洗浄し、浮き塗膜などは除去し、乾燥した清浄な面とする。						
はっ水処理	ニッペファインプーレガード（ターペン可溶特殊シラン系はっ水剤）	1	0.16～0.20	16時間以上	無希釈	−	ウールローラー エアレススプレー
下　塗　り	ニッペファインプーレコート（ターペン可溶シリコン樹脂クリヤー塗料）	1	0.12～0.15	4時間以上	塗料用シンナーA	30～40	エアスプレー
中　塗　り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー（つや有り）	1	0.12～0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20～40	エアスプレー
上　塗　り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー（つや有り～つや消し・カラークリヤー）	1	0.12～0.14	−	塗料用シンナーA	20～40	エアスプレー※

注）上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）
●ニッペファインプーレコートやニッペファインシリコンフレッシュクリヤーをローラーにて塗装する場合、つやむら、つやの上昇が発生する場合があります。
　あらかじめ試験塗装を実施し、仕上がりをご確認ください。さらに、ローラーは短毛ローラーにて塗装し、塗装時の希釈率は「0～10%」で塗装してください。（基本的にスプレーでの塗装をおすすめします）
●旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。
※）つや調整品では、Pコン部分などで、タマリやダレなどができると、つや調整剤による白化状態が発生する場合がありますので、塗装時は十分ご注意ください。

塗り替え仕様について

経年した外壁の打ち放しコンクリート面は、新設時の打ち放しコンクリート面に比べて雨水、炭酸ガスおよび紫外線などによりコンクリート表層は風化され、塗装下地はポーラス（多孔質）状態になっています。そのため塗料の吸い込みが著しく、下塗り（ニッペファインプーレコート）塗装仕上げ段階で白化状態になる場合があります。（「ニッペファインプーレコート」には、濡れ肌防止のための特殊顔料分が配合されており、含浸力の高い樹脂分が基材に吸いこまれて表面に特殊顔料分だけが取り残され白化します。）その場合、下塗り塗装後「ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーつや有り」を塗り付けし、白化状態がなくなるまで塗りこんでください。

ニッペ ファイン プーレシステム

荷　姿

塗料名	色　相	つ　や	容　量	塗料液・硬化剤混合比（質量比）	塗料液・硬化剤混合後の使用時間（23℃）
ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー	透明 カラークリヤー	つや有り、3・5分つや有り つや消し	15kgセット （塗料液12kg硬化剤3kg）	4：1	6時間
ニッペファインプーレコート	乳白色	―	15kgセット （塗料液12.5kg硬化剤2.5kg）	5：1	6時間
ニッペファインプーレガード	透明	―	14kg	―	―

※カラークリヤーは「ニッペ ファインシリコンフレッシュクリヤー塗料液」に対し、「ニッペ ファインシリコンフレッシュ塗料液」を質量比5%まで混合し、混合塗料液と硬化剤を質量比4:1で混合し使用してください。

注意点

●本商品は、すぐれた性能を発揮させるために、非常に敏感で強固な反応をするように設計されています。水やアルコール類が、塗料液や硬化剤に混入しないようにしてください。
また、空気中に含まれる水分や湿気とも敏感に反応します。必ず密栓し、冷暗所に保管してください。マスカーなどの封では不十分です。
●長期間の保管（6ヶ月以上）は避けてください。また、開栓後はなるべく早く使い切ってください。
●ニッペカラーマックスFAや各種現場調色用着色剤を使用して現場調色することは避けてください。
反応性が非常に高く、デリケートな製品のため、ニッペカラーマックスFAや各種現場調色用着色剤を使用して現場調色した場合、硬化剤を混合した後に、色相が変わるおそれがあります。

環境性能

塗料名	ホルムアルデヒド放散等級	溶剤区分	鉛	ホルムアルデヒド	クロルピリホス	トルエン	キシレン	TVOC
ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー	F☆☆☆☆	弱溶剤	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	1.0	48.7
ニッペファインプーレコート	F☆☆☆☆	弱溶剤	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	0.9	41.3
ニッペファインプーレガード	F☆☆☆☆	弱溶剤	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	1.8	85.5

環境性能（化学物質の配合量）の見方について

1）2液形塗料は混合後の配合量を記載しています。
2）配合量（数値）については右（表）の基準で記載しています。なお、現在の原料情報に基づいてのもので、実際の測定結果ではありません。
3）TVOC量は、塗料配合中に含有する沸点が260℃以下の揮発性有機化合物の総量を記載しています。
4）日本ペイントのすべての塗料製品には、主に防虫剤として使用されるパラジクロロベンゼンを配合していません。
5）調色品に含まれる化学物質の含有量は色相により若干異なります。上記の数値は上塗りは白の数値を記載しています。調色可能な商品および常備色などの数値は目安としてお考えください。
6）建築基準法改正にともない居室に使用する材料に新たに制限が設けられています。ホルムアルデヒド放散等級をご確認の上、使用制限にあわせてご利用いただきますようお願いいたします。

文言・記号・数値の意味	
配合せず	塗料中に配合していませんが、原材料などの不純物質として極微量検出される場合があります。
数字（例38.9）	実際の配合量を記載しています。　単位（%）
ホルムアルデヒド放散等級（例F☆☆☆☆）	ホルムアルデヒド放散等級は作成時時点での社内データ及び原材料情報により作成しております。法規制などの改正などで内容を改正する必要が生じた場合には、予告なく変更致します。なお、改正内容と改正日以前に作成された資料内容に相違が生じることがあります。あらかじめご了承ください。

施工上の注意事項

●塗装時ならびに塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い火気厳禁にしてください。
●塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上または換気が十分ではなく、結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
●素地の乾燥は十分に行ってください。（含水率10%以下、pH9以下）
●外部の塗装で降雨、降雪のおそれのある場合および強風時は塗装を避けてください。
●空気取入口等に養生を行ない、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願いいたします。
●希釈率、塗付量が異なりますと仕上がりむらの原因になりますので、あらかじめ試し塗りを行い、条件を設定してください。
●2液形塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。）
●旧塗膜・下地に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
●防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として、除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
●飛散防止のため養生を行ってください。
●シーリング面は、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
●ファインプーレシステムの下塗り材に、エポキシ樹脂塗料（「ニッペ浸透性シーラー(新)」など）は使用しないでください。
●塩ビラミネート、塩ビゾル鋼板への塗装は避けてください。
●色相によって調色できない色もありますのでご注意ください。
●水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
●塗料液と硬化剤は湿気に感じやすいので密栓して貯蔵してください。
●硬化剤にはイソシアネートを含有しているため、蒸気、ミストなどを吸い込まないようにしてください。
●硬化が不十分な場合は塗料用シンナーで再溶解する場合があります。
●硬化剤の皮膚付着などには十分注意してください。
●夏場の高温時、塗膜がゴムパッキング、プラスチックなどに直接触れないように注意してください。
●塗料液と硬化剤の混合の割合(質量比)は必ずまもってください。不足したり過剰に添加すると、低汚染性が低下したり、(または硬化不良で縮みが発生したり)色相変化が起こるなど塗膜性能や仕上がり外観に悪影響を及ぼします。
●建物の構造や地域、環境、方角、塗膜厚などにより、塗膜の耐久性能(耐候性、低汚染性、防藻・防かび性など)が十分に発揮されない場合があります。
●塗料液・硬化剤混合後の可使時間(ポットライフ)は6時間です(23℃時)。ポットライフは施工時の気温、保管状態、シンナー希釈割合によって異なります。塗料液・硬化剤混合後の塗料は、必ずその日のうちに使い切ってください。
●つや調整品(5分つや有り、3分つや有り、つや消し)は、被塗物の形状や素地の状態、膜厚や色相などにより、実際のつやと違って見える場合があります。見本塗り板、またはあらかじめ試し塗りをして確認してください。
●つや調整品のつやむら・吸い込みむらやカラークリヤーの色むら・吸い込みむらなどが発生する場合がありますので、基本的にスプレーでの塗装をおすすめいたします。
●詳細な内容については各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。
特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

安全衛生上の注意事項

●ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーつや有り塗料液

・本来の用途以外に使用しないでください。
・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
・熱／火花／炎／高温のもののような着火源から遠ざけてください。ー禁煙です。
・容器を密閉してください。
・容器および受器を接地してください。
・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用してください。
・火花を発生しない工具を使用してください。
・粉じん／ガス／蒸気／スプレーなどを吸入しないでください。
・必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。
・この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないでください。
・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
・適切な保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。
・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
・飲み込んだ場合:気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
・眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
・取り扱った後、手を洗ってください。
・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください／取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
・粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
・暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
・水を消火に使用しない。
・容器からこぼれたときには、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
・施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
・直射日光や水濡れは厳禁です。
・積み重ねは3段までとしてください。
・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
・内容物／容器を廃棄するときには、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。
・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。
□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危　険	危険有害性情報
	引火性液体および蒸気／皮膚刺激／強い眼刺激／発がんのおそれの疑い／生殖能力または胎児への悪影響のおそれ／臓器の障害（単回暴露）／長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害／水生生物に非常に強い毒性（急性）／長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

日本ペイント株式会社

お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

カタログNo.
NP-M088
KE080805T
2008年8月現在

●ISO14001を全事業所で認証取得。●このカタログは再生紙を使用しています。